

事業報告

事業名	令和元年度第4回屋久島研究講座	事業体系	環境学習事業
期 日	令和元年12月8日(日)9:30~11:30		
場 所	離島開発総合センター		
対象者	屋久島町民（高校生以上対象）	参加者数	100名（内カ`イト`登録受講証明書発行 名）
<p>(概 要)</p> <p>演 題 5. 18豪雨における山岳残留事故を検証する</p> <p>講 師 黒川 潮 （森林総合研究所 山地防災研究グループ長） 中馬慎一郎（屋久島観光協会ガイド部会長 観光協会代表理事）</p> <p>講演要旨</p> <p>2019年5月18日、屋久島山中で1日に1000ミリを超える豪雨が降り、県道ヤクスギランド線が崩壊、ヤクスギランドに15人？、荒川登山口に300人を超える人数が閉じ込められるという事態となった。その様子はSNSやマスコミを通じて伝えられ、全国的に発信され、さまざまな影響を残した。</p> <p>このセッションでは今回の尾立岳南斜面崩壊のメカニズムを踏まえて、当日の入山判断の多様なあり方、ガイドと登山者が直面した縄文杉荒川登山ルート of 状況と現場対応、一般観光客が立ち往生したヤクスギランドの現場対応、当日出勤なしのガイドたちの麓での動き、対策本部・救助側の町、消防、警察、自衛隊の対応と連携状況などを検証し、この事例を礎として今後に向けてあるべき災害対策と対応システムなどをめぐる、災害マニュアルの検討をする。</p> <p>※ 屋久島町エコツーリズム推進協議会登録ガイド更新条件の対象となっています。</p>			
<p>(講演時の様子)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
資料等	別添のとおり		